

令和3年度

学 生 募 集 要 項

【大学院人間健康科学研究科】

栄養科学専攻（博士後期課程）

【二次募集】

《一般選抜・外国人留学生特別選抜》

令和3年4月入学

（インターネットによる出願）



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜日程・選抜方法等について変更がある場合は、本学ホームページ (<http://sun.ac.jp/>) でお知らせします。

お問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

シーボルト校

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

Tel 095-813-5065 / Fax 095-813-5222

【 目 次 】

インターネット出願について	1
教育目標と学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 募集区分、募集人員及び試験期日	3
2. 出願資格	3
3. 選抜方法	4
4. 出願前の手続	5
5. 出願手続	6
6. 障害のある入学志願者との協議	9
7. 合格発表	9
8. 入学手続	9
9. 初年度納付金等	10
10. 研究指導担当教員	11
11. 教育課程の概要	12

インターネット出願について

長崎県立大学では、すべての入試においてインターネット出願を導入しています。
なお、出願期間中に郵送が必要な書類がありますのでご注意ください。

■ 出願の流れ

1) 事前準備

パソコンまたはスマートフォンで大学ホームページ（本学 HP）の「インターネット出願はこちらから」にアクセスし、インターネット出願ガイダンスページの『はじめに』から「インターネット出願ガイド」をダウンロードしてください。

2) 出願に必要な書類などを準備

「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備してください。
なお、出願登録の際に、顔写真データ（JPG、3 MB 未満）が必要になりますので、予めご準備ください（上半身／無帽／正面向き／背景無し／カラーで、出願前 3 か月以内に撮影したもの）。

3) 出願登録を行う

インターネット出願ガイダンスページの『出願登録』および『出願内容を確認』から、画面の指示に従って登録内容を入力してください。

登録内容

- ①出願情報（募集区分・志望専攻・志望コース等）、②志願者情報
- ③入学検定料支払方法
※志願者情報入力後、【出願確認票（未入金）】をダウンロードしてください。
《支払方法》
 - ◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）
 - ◎ネットバンキング

4) 入学検定料を支払う

選択した支払方法に従って、**支払期限までに**入学検定料（30,000 円）を支払ってください。

5) 出願書類の印刷・郵送

入学検定料の支払い後、インターネット出願ガイダンスページの『出願内容を確認』から、各種様式をダウンロードし、A4 サイズの用紙に印刷してください。

本要項に記載されている出願手続きに従って、必要書類および封筒等を準備し、
« 出願書類提出期限 » に間に合うように郵送してください。

6) 出願完了

大学院人間健康科学研究科の教育目標と学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

【教育目標】

本大学院人間健康科学研究科は本学が公立大学であることを強く意識し、大学の知的財産を地域社会や住民・企業等に還元することが大きな責務であると認識しています。

島嶼の多い長崎県では過疎化と高齢化が他の都道府県より進んでおり、保健・医療・福祉関係の出費の比率は極めて高くなっています。これらの領域における課題解決のための高度な専門的知識や技術を創造する研究者および高度専門職業人を育成することが本研究科の教育目標です。

このことを踏まえ、県民の健康の保持増進ならびに疾病の予防に寄与する最新の知識や技術を研究開発する能力、最新の知識や技術を活用して県民の健康水準を向上させていく能力、地域の専門職と連携して県民の生活習慣に変革をもたらす政策を考案し、保健・医療・福祉・介護システムを変革する能力、健康保持増進の視点に立って次世代の専門職を育てる能力などをもった高度専門職業人を育成すると共に、地場産業の発展・活性化に寄与する研究・開発に取り組みます。その育成の対象は、学部卒の一般学生のみならず、社会人、外国人留学生などを含んでいます。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は、上記の教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

- 保健・医療・福祉・介護領域において社会に貢献したい人
- 柔軟な発想を持ち、応用力、適応力、分析力、行動力に富んだ人
- 科学技術の進歩を人の健康や生活のために積極的に調整・活用する社会性を身に付けたい人
- 高度の専門知識や技術を修得したスペシャリストを目指す人

栄養科学専攻

【教育目標】

栄養科学専攻は急速な少子高齢化社会の推移に対応できる「食と健康」を中心とした領域の高度専門的職業人、教育指導者、研究者を養成するとともに、地域住民の保健・医療・福祉の向上ならびに地場産業の発展・活性化などに寄与することを目的としています。

このため、断片化した高度の専門知識を統合理解し、新しい課題に向けての栄養学的基礎知識を形成することにより、加齢や疾病による生体機能の変化を栄養学的見地から理解し、健康の保持・増進や生活習慣病の予防に役立てることを目標に取り組んでいきます。またヒトを対象とした栄養学研究を通して、実生活における栄養学的、健康科学的問題点を明らかにして、それらに対応するための有用な方策を探り、その成果を社会に還元することを目標に教授します。こうした教育・研究を通して、高度の専門的学力と研究能力を持ち、健康施策への応用可能な研究、食品・医薬関連産業における商品開発ならびに健康・保健・医療行政を推進できる高度専門職業人を育成します。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は、上記の教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

- 病院等医療機関におけるチーム医療で栄養専門家として活躍したい人
- 保健・医療・福祉・介護等の領域で地域栄養活動に従事したい人
- 食品・医薬品の開発・設計などの研究または普及啓発活動を行いたい人
- 管理栄養士・栄養士養成施設における教育・研究に携わりたい人
- 公的試験・研究機関等において栄養・食品分野の研究を行いたい人

1. 募集区分、募集人員及び試験期日

専攻（課程）	募集区分	募集人員	試験期日
栄養科学専攻 （博士後期課程）	一般選抜	3名	令和3年3月20日（土）
	外国人留学生特別選抜	若干名	

※外国人留学生特別選抜の若干名は一般選抜の募集人員に含まれます。

2. 出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当する者

- [1] 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第1項の規定により修士の学位又は専門職学位を授与された者及び令和3年3月31日までに同学位を授与される見込みの者
- [2] 学校教育法第104条第4項の規定により修士の学位を授与された者及び令和3年3月31日までに同学位を授与される見込みの者
- [3] 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月31日までに同学位を授与される見込みの者
- [4] 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月31日までに同学位を授与される見込みの者
- [5] 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月31日までに授与される見込みの者
- [6] 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月31日までに授与される見込みの者
- [7] 外国の学校、[5]の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- [8] 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - 1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - 2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- [9] 本学大学院の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年3月31日までに24歳に達する者

(2) 外国人留学生特別選抜

日本国籍を有しない者で、一般選抜の出願資格を有する者

※(1)一般選抜、(2)外国人留学生特別選抜において、出願資格〔7〕、〔8〕及び〔9〕により出願しようとする者は、事前審査を行いますので、5ページ「4. (2) 出願資格審査について」を参照してください。

3. 選抜方法

大学が実施する筆記試験及び面接、並びに提出された出願書類により総合的に判定して行います。

(1) 試験科目、試験時間

試験科目	試験時間
英語	11:00～12:30 (90分)
面接	14:00～ ※修士課程の面接終了後

注1) 「英語」の試験においては、英和辞書1冊(電子辞書は不可)を使用することができます。

注2) 外国人留学生特別選抜については、志願者が希望すれば英語による試験を実施できます。

ただし、出願確認票にその旨を記載していただく必要があります。

(2) 試験場

長崎県立大学シーボルト校

長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

(3) 受験上の留意事項

- ①受験者は、試験開始時刻の20分前までに指定された教室に入室してください。
なお、受付を設置する場合がありますので、当日試験場の案内誘導に従ってください。
- ②遅刻した受験者は、係員の指示に従ってください。試験開始時刻20分以内の遅刻に限り、受験を認めますが、試験時間の延長は認めません。
- ③試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- ④受験票を紛失又は忘れた者は、指示に従い速やかに仮受験票の交付を受けてください。
- ⑤受験票は、筆記試験時の指示に従って、監督者へ見えるように机の上に置いてください。
- ⑥机上には、鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、受験票、時計(計時機能だけのもの)の他は置くことができません。
- ⑦試験室内での発言は、必ず挙手をして、監督者の許可を得て行ってください。
- ⑧試験時間内の退室は認めません。なお、発病等やむを得ない場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- ⑨試験室内では、受験者間の物品の貸借は認めません。
- ⑩受験者控室・試験室内では、携帯電話等の電子機器の使用を禁止しますので、電源を切っておいてください。
- ⑪試験室内で英文字、地図等がプリントされている被服等、試験実施に影響を与えるものを着用している場合は、必要に応じ脱衣等の指示に従っていただきます。
- ⑫不正行為をした者又は監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。
- ⑬試験前日の午後限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
- ⑭新型コロナウイルスの感染拡大状況により入試の実施方法等について変更する可能性があります。大学ホームページ等を通じて周知しますのでご留意ください。
- ⑮その他必要な事項が生じた場合には、志願者情報に登録されたメールアドレス又は大学のホームページから通知します。

4. 出願前の手続

(1) 事前面談について

①面談の実施方法・連絡先について

全ての志願者は、出願前に志望分野の担当教員との事前面談（メールを含む）を行う必要があります。

担当教員については、研究指導担当教員（11ページ）によることとし、事前面談は、直接、担当教員へ申し込んでください。（複数の教員と面談することも可能）

※担当教員が不在の場合は、学生支援課学生グループまでお問い合わせください。

②事前面談実施期間

令和3年2月22日（月）～ 令和3年3月4日（木）

③事前面談書類

特に指定の様式はありません。自己紹介、志望研究等についての説明用資料を任意に持参することは構いません。

(2) 出願資格審査について

出願資格〔7〕、〔8〕及び〔9〕により出願しようとする者は、出願資格認定申請を行い、出願前に出願資格認定を受けることが必要です。

①出願資格認定申請期間

令和3年2月15日（月）～ 令和3年2月19日（金） **必着**

②申請方法

- ・ **出願資格認定申請書**を本学ホームページ（入試情報／大学院入試／人間健康科学研究科（博士後期課程））からダウンロードし**両面印刷**して作成してください。
- ・ 出願資格認定申請書は必要書類を添付し申請してください。
- ・ 申請は、大学窓口へ直接持参又は「簡易書留・速達」で郵送してください。
- ・ 大学窓口での受付時間は、平日の9時から17時までとします。
- ・ 郵送の場合は、封筒の表面に「大学院出願資格認定申請書類在中」と朱書きし、必ず「簡易書留・速達」扱いで送付してください。

③添付書類

- ・ 最終出身学校の成績証明書
- ・ 最終出身学校の卒業（修了）証明書
- ・ 研究歴についての在職期間証明書（任意様式）
- ・ 研究成果（論文等）

※外国籍の者は、市区町村が発行する住民票を添付してください。ただし、登録を要しない者又は登録未済の者は、査証及びパスポートの写しを添付してください。

④結果通知

出願資格審査後、速やかに申請者へ結果を送付します。

5. 出願手続

(1) 出願登録期間・入学検定料支払期限・出願書類提出期限

出願登録期間	入学検定料支払期限	出願書類提出期限
令和3年3月1日(月)～ 3月5日(金) 17:00まで	令和3年3月5日(金) 17:00まで	令和3年3月5日(金) 必着

(2) 入学検定料

30,000円 ※振込手数料(500円)が別途必要になります。

(3) 出願方法

下記URL(本学HP)のインターネット出願ガイダンスページから、出願してください。

<https://www.postanet.jp/info/011031/>

【出願ガイダンスQRコード】

※出願ガイダンスページの『はじめに』をよく確認してください。

※《出願登録⇒入学検定料の支払い⇒出願書類の提出》で

出願手続きが完了します。



出願書類等は検定料の支払後にダウンロードが可能になる【封筒貼付用宛名シート】を貼り付けた角2封筒を用いて必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。

持参する場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。

(4) 出願先(大学窓口)

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番地1
長崎県立大学シーボルト校学生支援課学生グループ
(TEL 095-813-5065)

(5) 出願書類

出願書類は、「インターネット出願システムから印刷するもの」と、「出願者が各自で準備するもの」があります。

○ インターネット出願システムから印刷するもの

※ 入学検定料の支払い後に、「インターネット出願入金完了メール」が届いたら、出願ガイダンスページの『出願内容を確認』にアクセスして、【出願確認票(入金済)】、【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズの用紙に印刷し、郵送してください。

出願書類等	摘 要
長崎県立大学 大学院出願確認票 【入金済】	<p>① 出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。</p> <p>② 必ず【入金済】と記載された出願確認票を利用してください。</p>
封筒貼付用 宛名シート	<p>① 出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。</p> <p>② カラーまたは2色刷りで印刷してください。</p> <p>③ 出願書類は宛名シートを貼り付けた市販の角2封筒(240mm×332mm)に入れ厳封してください。封筒の色は問いません。</p> <p>※ 封筒貼付用宛名シートが出力できない場合は、直接封筒に以下の内容を記入し簡易書留・速達で郵送してください。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集区分及び志望専攻 ・ 出願登録番号 ・ 志願者情報(郵便番号、住所、氏名、フリガナ) ・ 『入試出願書類在中』(朱書き) ・ 出願先住所 </div>

○ 出願者が各自で準備するもの

出願書類等	一般選抜	外国人留学生特別選抜	摘 要
志望理由書	○	○	<p>① 本学所定の様式を本学HP(入試情報/大学院入試/人間健康科学研究科(博士後期課程))からダウンロードし作成してください。(ワープロ作成可)</p> <p>② 志望理由を1,000字程度で記入してください。</p> <p>③ 印刷・提出する際は、両面印刷してください。</p>
研究計画書	○	○	<p>① 本学所定の様式を本学HP(入試情報/大学院入試/人間健康科学研究科(博士後期課程))からダウンロードし作成してください。(ワープロ作成可)</p> <p>② 研究計画を1,000字程度で記入してください。</p> <p>③ 印刷・提出する際は、両面印刷してください。</p>
履歴書	○	○	<p>本学所定の様式を本学HP(入試情報/大学院入試/人間健康科学研究科(博士後期課程))からダウンロードし作成してください。(ワープロ作成可)</p>

出願書類等	一般選抜	外国人留学生特別選抜	摘 要
成績証明書	○	○	最終出身学校（大学院等）の長が作成したものを提出してください。 ※外国で発行された証明書を提出する場合には、それぞれ日本語に訳したものと及び公証書を添付してください。
卒業（修了）証明書（見込証明書）又は卒業（修了）証書の写し	○	○	最終出身学校（大学院等）の長が作成したものを提出してください。 ※外国で発行された証明書を提出する場合には、それぞれ日本語に訳したものと及び公証書を添付してください。 ※卒業（修了）証書の写しを提出した者は、試験当日に原本を提示してください。 ※学位授与機構より修士の学位を授与された者は、同機構が発行する学位授与証明書（授与される見込みの者は、同機構が発行する学位授与申請受理証明書）を提出してください。
在留資格の証明	○	○	<外国籍の者のみ> 在留資格及び期間を確認します。市区町村が発行する 住民票 を提出してください。ただし、登録を要しない者又は登録未済の者は査証及びパスポートの写しを提出してください。
修士の学位論文等	○	○	修士論文又はそれに代わる研究成果（論文等）を提出してください。

注1）改姓により出願書類と各種証明書の氏名が異なっている場合には、戸籍抄本を添付してください。

（6）出願上の留意事項

- ①出願時及び出願資格認定申請時に本学指定の書類がすべて揃っていない場合は受付できませんので、提出の際は十分確認してください。
 - ②出願書類の記入にあたっては、黒色のボールペンで正確に記入してください。
 - ③出願書類受付後は、記入事項の変更を認めません。ただし、出願後に氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、学生支援課学生グループに連絡してください。
 - ④入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
 - ⑤一度受理した出願書類は返還しません。
 - ⑥既納の検定料（30,000円）は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・出願書類を提出しなかった場合
 - ・出願が受理されなかった場合
 - ・検定料を二重に振り込んだ場合
- ※上記理由による当該検定料返還の申し出は、出願期間の最終日から1ヶ月以内とします。

(7) 受験票の準備

出願書類の受理、入学検定料の入金が確認されると「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。出願ガイダンスページの『出願内容を確認』にアクセスして「**デジタル受験票**」をダウンロードし、印刷して、大切に保管してください。受験票は受験時に必要ですので、必ず印刷したものを持参してください。

※ 試験日の7日前までに「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届かない場合は学生支援課学生グループまでご連絡ください。

6. 障害のある入学志願者との協議

障害ある入学志願者で、受験上及び修学上の特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる関係者との面談や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

7. 合格発表

(1) 合格発表期日

令和3年3月26日（金） 10時

(2) 発表方法

①合格発表日に合格者へ合格通知書を速達で発送します。

②大学ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

ホームページアドレス <http://sun.ac.jp/>

※ホームページ上の合格発表は補助的なサービスです。必ず合格通知書で確認してください。

③電話等による問い合わせには応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和3年3月29日（月）～ 令和3年3月31日（水） **必着**

(2) 入学手続方法

①入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

②大学提出書類は、大学窓口へ直接持参又は「書留速達」で郵送してください。

③大学窓口での受付時間は、平日の9時から17時までとします。

④一度受理した入学手続き書類は返還しません。

注) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

9. 初年度納付金等

(1) 入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

①県内生 **176,500円**

②県外生 **353,000円**

注1) 「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、令和2年4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。

注2) 入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

注3) 長崎県立大学大学院人間健康科学研究科栄養科学専攻（博士前期課程）修了見込みの者で、引き続き博士後期課程に進学する者については、入学料は不要です。

注4) 入学料は、入学手続期間内（令和3年3月29日（月）～ 令和3年3月31日（水））に納付してください。

注5) 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(2) 授業料

前 期	後 期	年 額 (計)
267,900円	267,900円	535,800円

注1) 上記の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

注2) 授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続関係書類とともに送付します。

(3) 実習等経費

実習・実験等の経費が別途必要となることもあります。

(4) その他納付金

入学時に同窓会費及び学生保険料等を納付していただく予定です。

詳細については、合格通知書とともにお知らせします。

※1 同窓会費については、長崎県立大学学部生で入会していた者は不要です。

※2 学生保険料については、保険の種類によって金額が異なります。

(5) 奨学金（独立行政法人日本学生支援機構奨学金）

区 分	貸 与 月 額
第一種奨学金（無利子貸与）	80,000円 122,000円 (2種類から選択)
第二種奨学金（有利子貸与）	50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円 (5種類から選択)

(6) 下宿、アパートの斡旋

下宿、アパートについては、本学シーボルト校生活協同組合で相談に応じます。

(TEL 095-887-5552)

10. 研究指導担当教員

(令和2年10月1日現在)

領域区分	専門分野	担当教員	事前面談お問い合わせ先
基礎栄養科学領域	細胞生化学	シバサキ コウジ 柴崎 貢志 教授	お問い合わせはこちら
	食品機能学、食品栄養学	コバ カズノリ 古場 一哲 教授	お問い合わせはこちら
	有機化学	クラハシ タクヤ 倉橋 拓也 教授	お問い合わせはこちら
	栄養生理学	スルガ カズヒト 駿河 和仁 准教授	お問い合わせはこちら
	代謝栄養学	シロウチ ブンゴ 城内 文吾 准教授	お問い合わせはこちら
	食品衛生学	マツザワ テツヒロ 松澤 哲宏 准教授	お問い合わせはこちら
	栄養疫学	タケウチ ショウヘイ 竹内 昌平 講師	お問い合わせはこちら
実践栄養科学領域	臨床栄養学	オオマガリ カツヒサ 大曲 勝久 教授	お問い合わせはこちら
	生活習慣病医療学	セラ ノブコ 世羅 至子 教授	お問い合わせはこちら
	健康体力科学	トビナ タクロウ 飛奈 卓郎 准教授	お問い合わせはこちら
	栄養管理学	イワミ モモエ 石見 百江 講師	お問い合わせはこちら

1 1 . 教育課程の概要

(1) 人間健康科学研究科 栄養科学専攻 (博士後期課程) の考え方及び特色

人間健康科学研究科栄養科学専攻 (博士後期課程) では、「食や運動と健康」に関わる最新の知識や実践的技術を持ち、さらに健康の保持・増進や質の高い食生活、栄養状態の改善などを科学的に理解・追求し、専門領域の学術レベルの向上を資することにより、次に掲げる知識や能力を有する人材を育成する。①専門的な知識や技術を修得して、基礎栄養科学分野や実践栄養科学分野等において、国際的なレベルで高度な専門研究を推進できる研究者。②健康の保持・増進の視点に立ち、次世代の専門職業人を育てる教育研究指導者としての能力。③保健・医療・福祉分野で活躍できる高度専門職業人としての知識や実践能力および指導者としての能力。

近年の生理学、生化学、分子生物学、細胞工学、遺伝子工学などの生命科学の著しい発展により、人が食物を摂取して体内に取り入れた栄養素が生命現象を営むうえでいかに機能しているか、また、その機能を発現するに至るまでのプロセスについての研究が急速に進みつつある。一方、わが国は世界に類をみない速さで高齢化が進んでおり、それに対応した栄養学的な取り組みの重要性が増している。断片化した高度な専門的知見を統合理解し、新しい課題に向けての栄養学的基礎知識を形成することにより、加齢や疾病による生体機能の変化を栄養学的見地から理解し、健康保持や生活習慣病の予防に役立てること、人を対象とした人間栄養学の実践的研究を通して、実生活における栄養学的、健康科学的な問題点を明らかにして、それらに対応するための有用な方策を探り、その成果を社会に還元することを目指し、脂質代謝、骨代謝調節、運動時の生理機能変化、ビタミン代謝などを中心とした生体代謝調節機構、疾病と食品機能との関連、食の安全性、生体の機能統合 (ホメオスタシス) とその加齢変化などを教授し、分子レベル、細胞レベル、個体レベルで栄養素と生体機能の関係を修得させる。

また、この分野の研究に必要な基礎技術を修得した上で、その応用力を養い、研究開発能力と創造性を持つ技術者及び研究者を育成する。さらに、動物実験や細胞実験などを通して得られる栄養素の生理的代謝及び代謝異常、栄養素と加齢との関連、微量栄養素の生体機能における役割等の知見を修得させ、研究に必要な技術を習熟させる。さらに、これらの知見をもとに、人集団を対象とした応用技術を修得させ、人の実生活における栄養素の摂取状態と健康、社会環境や食環境と健康との関わり、社会構造や食生活などについての疫学的研究、健康教育・栄養教育の実施計画を立てる。こうした教育・研究を通して高度の専門的学力と研究能力を持ち、チーム医療の現場における指導者の立場としての臨床栄養専門家、ならびに健康政策への応用可能な研究・調査や健康・保健・医療行政などを推進できる有為・有能な公衆栄養専門家を育成する。

なお、本大学は地域に根ざした公立大学であることに鑑み、これらの分野の中でも特に地域のニーズに即した研究テーマにも重点を置いて、学生の指導や人材育成を行いたいと考えている。

(2) 授業の概要とねらい

栄養科学専攻（博士後期課程）は、「基礎栄養科学領域」及び「実践栄養科学領域」を設置し、教育研究を行う（表1）。

表1. 研究領域及び担当教員（博士後期課程）

（令和2年10月1日時点）

1) 基礎栄養科学領域

研究指導（細胞生化学）	専任、教授	柴崎 貢志（博士（理学））
研究指導（食品機能学、食品栄養学）	専任、教授	古場 一哲（博士（農学））
研究指導（有機化学）	専任、教授	倉橋 拓也（博士（工学））
研究指導（栄養生理学）	専任、准教授	駿河 和仁（博士（食品栄養科学））
研究指導（代謝栄養学）	専任、准教授	城内 文吾（博士（農学））
研究指導（食品衛生学）	専任、准教授	松澤 哲宏（博士（医学））
研究指導（栄養疫学）	専任、講師	竹内 昌平（博士（保健学））

2) 実践栄養科学領域

研究指導（臨床栄養学）	専任、教授	大曲 勝久（医学博士）
研究指導（生活習慣病医療学）	専任、教授	世羅 至子（博士（医学））
研究指導（健康体力科学）	専任、准教授	飛奈 卓郎（博士（教育学））
研究指導（栄養管理学）	専任、講師	石見 百江（博士（獣医学））

「基礎栄養科学領域」では遺伝子工学、細胞工学の技術を利用して生命科学の本質である遺伝子発現に対する栄養素、ひいては食事の制御メカニズムを研究し、その成果に基づいた教育を重視する。さらに、人体の健康的な機能統合、代謝調節及びそれらに必要な栄養素補給、微生物と人間の共存、食品の安全性と機能性、機能性に優れた食品の設計と創製、食品の加工・貯蔵技術とそれに伴う化学成分の変化などを内容とする教育・研究を重視する。特に、超高齢社会における健康志向に応えられる食品の機能性の開発とその利用性に力点を置いた教育・研究も推進する。特に、多様化した社会における健康問題の背景を食・栄養の面から疫学的な手法を用いて解析し、長期展望に立った栄養・健康の計画及び実践に力点を置いた教育・研究を展開する。併せて、食環境と疾病との関わりや社会環境の健康影響などに視点を置いた教育を行う。

「実践栄養科学領域」では、実践科学としての栄養学の社会貢献に視点を置いて教育・研究を行う。人体の健康的な機能統合、代謝調節及びそれらに必要な栄養素補給、腸内環境を含めた健康影響、健康づくりのための栄養状態の評価・判定、食生活、身体活動、ストレスなどの生活習慣によってもたらされる生活習慣病、栄養管理のあり方、運動負荷と健康増進・体力向上、栄養補給の適・不適の診断とその対応、食品の二次機能の有効利用と食文化の形成、それに伴う摂食行動との関わり、加齢に伴う機能変化や生活環境と栄養との関連などに視点を置き、栄養効果と生体側の状態に関する教育・研究を推進する。

(3) 人間健康科学研究科 栄養科学専攻（博士後期課程）における科目等の構成と関係

(令和2年10月1日時点)

①基礎栄養科学領域

博士前期課程				博士後期課程			
分野名			担当予定者	分野名			担当予定者
授 業 科 目	研 究 指 導	細胞生化学	柴崎 貢志	授 業 科 目	研 究 指 導	細胞生化学	柴崎 貢志
		食品機能学	古場 一哲			食品機能学	古場 一哲
		有機化学	倉橋 拓也			有機化学	倉橋 拓也
		栄養生理学	駿河 和仁			栄養生理学	駿河 和仁
		代謝栄養学	城内 文吾			代謝栄養学	城内 文吾
		食品衛生学	松澤 哲宏			食品衛生学	松澤 哲宏
		栄養疫学	竹内 昌平			栄養疫学	竹内 昌平
	機能形態学	大澤 得二	機能形態学		大澤 得二		
高分子化学（非常勤）			原 研治				

②実践栄養科学領域

博士前期課程				博士後期課程					
分野名			担当予定者	分野名			担当予定者		
授 業 科 目	研 究 指 導	臨床栄養学	大曲 勝久	授 業 科 目	研 究 指 導	臨床栄養学	大曲 勝久		
		生活習慣病医療学	世羅 至子			生活習慣病医療学	世羅 至子		
		健康体力科学	飛奈 卓郎			健康体力科学	飛奈 卓郎		
		栄養管理学	石見 百江			栄養管理学	石見 百江		
	フードマネジメント学				本郷 涼子	フードマネジメント学			本郷 涼子
	調理科学				荒木 彩	調理科学			荒木 彩
	栄養診断学				立石 憲彦	栄養診断学			立石 憲彦

(4) 教育課程及び研究指導等

3年間継続して行われる「栄養科学特別研究Ⅱ」が教育課程の主体となる。1年次から研究指導科目を履修し、研究課題を決定して課題遂行のための計画を立案し、研究成果を博士学位論文としてまとめる。そのために、研究課題の設定、研究計画の立案、研究指導、データ収集、データ解析等の指導を行う。また、他領域の教員からの指導を受け、多くの研究領域を有機的に統合しながら健康科学に立脚した質の高い博士学位論文を完成へ導き、博士後期課程を修了させる。博士後期課程を修了した者に博士の学位を授与する。

①大学院博士後期課程の目標

教育目標は、健康の保持増進や疾病の予防に関する学術的な課題を自立して研究し、健康科学・栄養科学に寄与する高度な専門的知識や技術を創造する研究者を育成することである。すなわち、健康の保持増進や疾病の予防・回復に関する学術と研究を推進してその深奥を究め、自立して研究活動を行うことができる能力を身につけ、実践的課題を研究的手法によって解決する人材を育成することである。

あわせて、健康科学の知識・技術、研究能力を身につけ、高度の専門的な業務に従事できる高度専門職業人を育てる教育者を養成する。

②教育課程の構造と編成

本研究科博士後期課程は、「研究指導科目」を中心として編成し、特別研究を支援する科目として「研究支援科目」群を配置する。

「研究指導科目」の教育課程の中心は、3年間を通して継続される「栄養科学特別研究Ⅱ」である。1年次から「研究指導科目」を履修し、研究課題を特定して課題遂行のための計画を立案し、健康科学を探究する博士学位論文作成に取り組む。「研究指導科目」の中で、研究課題の設定、研究計画の立案、研究方法の展開、データ収集、データ解析等の指導を行う。さらに、「栄養科学特別演習Ⅱ」では、ゼミ形式により各専門分野の最新の研究成果を掲載した学術論文を精読、理解させる。研究成果の学会での発表、学術論文誌への原稿作成や投稿に対しても指導する。

「研究支援科目」として基礎栄養科学特講および実践栄養科学特講を開講する。この科目は博士後期課程における専門分野の担当者が講義または演習形式で行う。「研究支援科目」は、各々の専門領域に関する高度な理解を深めることによって、特別研究の中で行う研究の位置づけや他の研究との関連性をより明確にすると共に、研究者としての資質向上に資することを目的とする。

③研究指導体制

「栄養科学特別研究Ⅱ」では、博士学位論文指導の主研究指導教員を中心とした指導責任体制を整えるために、博士後期課程の学生1名につき1名の主研究指導教員と2名の副研究指導教員を定める。主研究指導教員は当該研究領域の博士学位論文指導の有資格教員がなり、副研究指導教員のうち1名は他研究領域から加わり、もう一人の副研究指導教員は主研究指導教員と同一の研究領域とする多面的指導体制を原則とする。副研究指導教員の1名は学外者に依頼することも可能とする。

④博士後期課程の修了要件

本研究科栄養科学専攻博士後期課程に、原則として3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、及び博士論文の審査及び試験に合格することである。

⑤博士学位論文の提出資格

- (1) 修業年限2年以上を在学していること。ただし、修業年限の特例として、在学年限が短縮されることがある。
- (2) 定められた単位を修得した者又は修得が確実に見込まれる者で、かつ、必要な研究指導を受けた者でなければならない。
- (3) 論文提出までに審査制度の確立された学術雑誌（国内外誌）に原著論文2編以上が掲載され、そのうち1編は筆頭著者であること。

⑥履修および研究指導の内容とスケジュール

教育にあたっては、学生の志向する領域の専門性を重視することが重要であるが、領域間の関連性も

重要であり、かつ、広い専門的視野の育成も重要な課題である。

入学者の博士後期課程修了までの履修指導・研究指導は、原則として次の過程に沿って行う。

- 1) 特別研究の主研究指導教員等を決定（1年次4月）
- 2) 履修計画の指導および研究課題の決定（1年次4月）
- 3) 研究計画の立案・指導（1年次5月～7月）
- 4) 研究の遂行・指導（1年次8月～3月）
- 5) 研究経過の第1回中間報告（1年次3月）
- 6) 研究の遂行・指導（2年次4月～9月）
- 7) 中間発表会（研究経過の第2回中間報告）（2年次10月）
- 8) 研究の遂行・指導（2年次10月～3年次7月）
- 9) 研究経過の第3回中間報告（3年次7月）
- 10) 博士学位論文の作成・指導（3年次8月～12月上旬）
- 11) 博士学位論文の提出（3年次12月上旬）
- 12) 学位審査委員（主査・副査）の決定（3年次12月中旬）
- 13) 博士学位論文の審査（3年次12月下旬～2月中旬）
- 14) 研究発表会（3年次1月下旬～2月中旬）
- 15) 博士後期課程修了の可否判定（3年次2月下旬）
- 16) 博士後期課程の修了および学位の授与（3年次3月）

学長は、学生の博士後期課程修了を認定し、博士（栄養学）の学位を授与する。

（5）学生の研究室（自習室）の考え方

本研究科の授業は、学部の教育施設、設備を共用して行うが、看護栄養学部棟（東棟）3階のE302大学院生研究室（約72.52㎡）を栄養科学専攻博士前期及び後期課程学生用研究室（自習室）とし、学習机、椅子、パソコン、プリンタ、共有書架などを整備して自己学習に取り組み易い環境を整える。パソコンは既設の学内LANに接続して、海外ならびに国内からの情報をリアルタイムで受け入れられるようにすると共に、附属図書館の文献検索が研究室（自習室）の学習机からも行えるように整備されている。

栄養科学専攻の特別研究は、指導教員の実験・実習室ならびに研究科に設置の共同研究室、共同施設等において行う。

授業科目の概要

(令和3年度入学者予定)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
研究支援科目	基礎栄養科学特講	1	2			
	実践栄養科学特講	1	2			
研究指導科目	栄養科学特別研究Ⅱ	1～3	12			
	栄養科学特別演習Ⅱ	1～2	4			

講義等の内容

授業科目名	講義等の内容
基礎栄養科学特講 ／ 実践栄養科学特講	基礎栄養科学特講及び実践栄養科学特講は、栄養科学専攻を担当する全教員がその専門的な立場からオムニバス方式で自分の専門領域について講義し、最終的には栄養科学専攻における全体的な教育・研究内容を理解させることを目的としている。このため、基礎栄養科学領域及び実践栄養科学領域のいずれからでも知識を修得し、「健康と食」に関する広い知識を身につけることができる。基礎・実践栄養科学特講は必修科目で、博士後期課程の学生はすべて受講することが義務づけられる。学生は、自身の研究領域と各教員の専門領域との関連性を検討することで、自身の研究の幅、取り組みが拡大することを期待する。教員は栄養科学全体からみて、どこに自分の専門領域が位置するのかを説明するので、学生は自分の研究領域を把握し、その専門領域の講義との関連性について考察することが重要である。
栄養科学特別研究Ⅱ	博士学位論文作成のための指導責任体制を整えるために、学生1名につき1名の主研究指導教員と2名の副研究指導教員を定める。それぞれの領域における研究課題を特定して課題遂行のための計画を立案し、健康科学を探究する博士学位論文作成に取り組む。その過程で、研究課題の設定、研究計画の立案、研究方法の展開、データ収集、データ解析等の指導を行う。
栄養科学特別演習Ⅱ	健康科学・栄養科学に関する国内外の知見の進歩を考慮に入れて、最新の研究論文・総説などを紹介させ、その考え方や背景等について討論を行う。演習を行うことにより実験計画を実行し、博士学位論文を完成させるまでの過程の指導を行う。また、健康・栄養科学領域の研究動向や方法に関する情報を深め、研究の方向性を洞察できる能力を学習させ、研究者として独り立ちできる能力を身につけさせる。